

## 【取材のご案内】

### AIリアルタイム防災・危機管理ソリューション『Spectee Pro』

豪雨・梅雨・台風に備えるため、SNS投稿とAIで河川の氾濫被害を予測・可視化

～ これまで大分県で河川氾濫被害の減少に貢献、愛知県豊田市では他県への迅速な支援を可能に ～

AIリアルタイム防災・危機管理ソリューション『Spectee Pro』を提供する防災テックベンチャーのSpectee(東京都千代田区、代表取締役:村上建治郎)は、梅雨シーズンを迎え、今年も豪雨や台風被害に注目が集まるなか、『Spectee Pro』の機能概要および同ソリューションを活用して台風・豪雨被害の減少に貢献した事例について、取材を承ります。既に大分県、愛知県をはじめ全国の自治体での活用実績があり、ご希望に応じて自治体側との取材調整も可能です。ご取材ご希望の際には、以下 広報事務局宛てにご連絡ください。

#### 『Spectee Pro』とは

- 1 収集: SNS投稿や気象庁の気象データ、地震情報、自治体の避難情報、自動車のプローブデータ、全国の道路・河川カメラから画像と動画情報などを収集。
- 2 通知: AI(人工知能)と人の確認によるダブルチェックで、正確な災害発生情報をリアルタイムに覚知・通知します。例えば、周辺地域の「○○工場で火災発生」をメールやアプリに通知します。
- 3 可視化・予測: 気象や交通状況などの情報を一元管理し、今後起こりうる「リスク」を予測。例えば、最新の気象データや衛星画像とAIが蓄積している過去のデータを組み合わせ、現在の浸水域や今後の被害範囲を予測します。

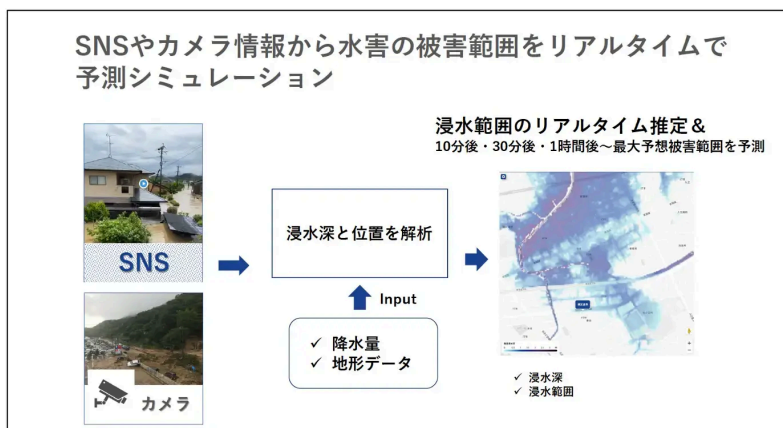
(※リアルタイム浸水推定機能)

動画URL: <https://youtu.be/zLmsYUxB6x0?si=L0G5BhN2WVjMGdJZ>



#### (これまでの事例)

- ・大分県生活環境部 防災局 防災対策企画課のこれまでの『Spectee Pro』活用: 2020年7月豪雨時にSNS情報を救助に活用。また、河川ごとの被害傾向の違いをリアルタイムに可視化できたことで被害の減少に貢献。
- ・愛知県豊田市のこれまでの『Spectee Pro』活用: 2020年、市に届いていなかった土砂災害の把握に『Spectee Pro』を活用。長野県の台風19号被害を『Spectee Pro』で収集し、要請を受ける前から必要物資を推測、迅速な支援を実現。



リアルタイム浸水推定図を説明した図表(左)と、2023年7月秋田県の浸水被害の際のSpectee Proの画面(右)

#### (取材可能項目)

- ・『Spectee Pro』について、および豪雨・台風時の川の氾濫予測機能など(デモ画面をお見せします)
- ・導入自治体側へのご取材 ※自治体側への取材もご意向をお知らせくださいませ、調整いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

Spectee広報担当 平川沙英 TEL: 03-6261-3655 MAIL: [press@spectee.com](mailto:press@spectee.com)